



日刊 重力千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

92.11.4 No. 3685

重効率で生活そのものを破壊!! (都賀→茂原通勤) ミスを認め改善せよ!

—— たらじ回しに「今後の活躍を期待」とひらき直る会社側 ——

【三六八三号よりつづく】

十月二九日に開催された、強

制配転者の再配転をめぐる団体

交渉の主な経過は次のとおりで

あった。

組 運転職場への復帰というの

要求を無視し、動労千葉の組合員であるというだけで塩漬けにし続け、さらにたらい回しの再配転を行なうなど、断じて容認できない。

また、再配転の仕方自身、

通勤距離を無視したものとな

「逆スジ」や朝四時の通勤など、全く非常識だ!

組 都賀在住の者を茂原に配転し、勝浦在住の者を稻毛に配転するという逆スジを引いた

り、朝四時の列車でなければ通勤できないような配転をするなど、全く非常識だ。これでは生活そのものが破壊されてしまう。

当 渡辺君(都賀在住)を茂原五号店でがんばって頂いた力量を発揮してもらうためだ。

また、稻毛の始業時間も今までよりも、一時間遅くなる今までよりも遅い。

つており、選任の基準が全く目茶苦茶だ。

当 貴側の方で何度も主張して

いることについては充分認識している。

今回の異動については、会

社全体のなかで、本人の希望等も前広に把握するなかで判断した。人選については、J

C店(コンビニ)を重視して

いくという店舗全体の再構築

計画のなかで、今後の活躍を期待して判断した。

C店(コンビニ)を重視して

いくという店舗全体の再構築

計画のなかで、今後の活躍を期待して判断した。

組 出勤時間が遅くしてあるなど、言っていることは全くウソではないか。現在の勤務は

遅番—早番のユニット勤務になつていていることは百も承知のはずだ。稻毛なり稻毛海岸の勤務は、ユニット勤務にならず、六時半、七時の出勤が連続することになるではないか。

組 どのような勤務を組むかは現場の判断になる。

組 そんなのは言い逃れにすぎない。稻毛・稻毛海岸の勤務は(遅番—早番—早番)が基本的なパターンであることは

そちらも知らないはずがないではないか。

しかも、国労の人間は、朝一番の列車でも間に合わない者が配転されている。職場に

二泊しろということか。

当 前泊できるよう手配はとる。

組 冗談ではない。出勤すれば

いとか、朝四時台の列車で通

職場に二泊しなければならぬ。

当

組 しかも、こんなことは、茂

原と稻毛を差し替え、稻毛

岸も、仮に同じ京葉線の売店

だとしても、ユニット勤務になつていてる売店がいくらもあるのだから配置し直せば簡単に解決のつくことだ。

当 茂原JC店は、ぜひ渡辺君

ということで人選した。

また、京葉線の他の売店と

いうことも考えられないでは

ないが、今回は廃止店舗の異動ということで実施した。

原に配置したのは、会社側が

単に通勤駅を間違えただけのことではないか。

組 今更知らないようなことを告白で確認している。

当 差し替えるつもりはない。働きやすさは今後も追求す

る。稻毛・稻毛海岸の勤務にかかる!事前通知を聞いていたと

勤するなどということが、生

活や家庭をどのような状態にするかを考えたことがあるのか。

稻毛など、十八時ないし十八時半に終われば家に帰るのは二時頃となり、朝四時に出でくるのでは睡眠をとる時間もないではないか。

これが「人間尊重企業」なの

か。

—— 通勤駅を間違えた会社のニース ——

—— 直ちに差し替えを行なべきだ ——

組 しかし、「通勤は興津ではないのか?」と言い、びっくりして調べ直し、「確かに一年半

前から都賀になつていました

ではないか。興津とり違えたため、一番の列車でも稻毛

の出勤時間に間に合わないと思つて茂原に配置しただけのことであるのは明らかだ。

組 通勤は可能の限り

考へた。茂原は今後力を入れる店舗として人選した……。

組 ミスを率直に認め、差し替えて行なえ。

当 差し替えるつもりはない。四時の列車で通勤できな

いような勤務を改善せよ。

組 四時の列車で通勤できな

いような勤務を改善せよ。

組 働きやすさは今後も追求す

る。稻毛・稻毛海岸の勤務にかかる!事前通知を聞いていたと